

セーフコミュニティ かめおか

— けがや事故を予防しよう — Vol.20 (平成 28 年 6 月号)



セーフコミュニティとは…

セーフコミュニティ（SC）とは、WHO（世界保健機関）が推奨する「けがや事故などは偶然の結果ではなく、予防することができる」という理念に基づいて、予防に重点を置き、地域社会全体が協働で進める安全安心なまちづくりの取り組みです。

TOPICS

1. ドライブレコーダーによるまちの見守り協定
2. 「子どものケガ予防ガイド」を作成しました！
3. セーフスクール特集
4. 反射材アンテナショップのオープン
5. セーフコミュニティかめおか 対策委員会合同研修会

◇問い合わせ先◇

亀岡市総務部自治防災課

電話：0771-25-5097

FAX：0771-24-5501

E-mail: 1sc2008@city.kameoka.kyoto.jp

ドライブレコーダーによるまちの見守り協定 ～見守りの「目」を増やします～

4月8日、亀岡市役所で「亀岡市ドライブレコーダーによるまちの見守り協定」の調印式が開催されました。

「セーフコミュニティかめおか 防犯対策委員会」では、街頭犯罪等を防ぐため、まちの見守りの目を増やす新たな挑戦として、企業等のドライブレコーダーを動く防犯カメラとして、効果的に



〔調印式の様子〕

活用することを検討して 〔協定に賛同された事業所の皆さん〕
きました。

調印式では、その意図に賛同した京阪京都交通株式会社、京都タクシー株式会社、有限会社 楠新聞舗、社会福祉法人 倣襄会の皆さんと亀岡市及び亀岡警察署が協定を結び、犯罪・交通事故の抑止について、新たなネットワークを構築しました。

桂川市長は「今後も安全、安心で「選ばれるまち」「住み続けたいまち」の実現を目指したい」という思いを伝えました。

「子どものケガ予防ガイド」を作成しました！ ～安全にスポーツに取り組もう～

「セーフコミュニティかめおか 余暇・スポーツの安全対策委員会」では、平成 24 年に市内すべてのスポーツ少年団に対してけがの調査を実施し、けがの内容から考えられる対策などをまとめた「子どものケガ予防ガイド」を作成しました。

スポーツ開始前のチェック項目をまとめた「スポーツ開始前の 6 チェックシート」や、ウォーミングアップ・クーリングダウンの方法、栄養に関する知識など盛り沢山の内容となっていますので、ぜひご活用ください。亀岡市ホームページにも掲載しています。



〔子どものケガ予防ガイド〕

反射材アンテナショップのオープン ～企業が交通安全に協力します！～



〔コーナン亀岡篠店〕
（サービスカウンター付近）

夜間にライトの光を反射して光る「反射材」のアンテナショップとして、コーナン亀岡大井店・亀岡篠店、アヤハディオ亀岡店に反射材のコーナーが設置されました。

「セーフコミュニティかめおか 交通安全対策委員会」では、交通死亡事故で高い割合を占める高齢者の事故の多くが、夜間に起きていることを重点課題と考え、反射材を購入しやすい環境について検討してきました。

その趣旨に賛同したコーナン商事(株)、アヤハディオ(株)と連携し、反射材を 1 箇所にとめて展示しています。

夜間は車から歩行者は見えにくいので、反射材を身につけましょう。



〔コーナン亀岡大井店〕
（12 番コーナー）

交通コラム 交通死亡事故多発警報が発令されました

亀岡市では、5月13日（千代川町）と5月24日（曽我部町）に交通死亡事故が発生したため、同日に交通死亡事故多発警報が発令されました。

尊い命を犠牲にしないため、交通ルールを守り、十分な安全確認を徹底するなど交通安全に心がけましょう。

- 運転中の携帯電話は危険
- シートベルトは後席も必ず着用
- 子どもにはチャイルドシート
- 夜間に歩くときは、反射材を着用



〔白石代表理事の講演〕

セーフコミュニティかめおか 対策委員会合同研修会 ～セーフコミュニティを広げるには？～

5月30日、亀岡市役所市民ホールで、「セーフコミュニティかめおか 対策委員会合同研修会」を開催しました。

第1部では、日本セーフコミュニティ推進機構の白石代表理事より、「昨年度の亀岡市のセーフコミュニティの取り組みの振り返りと今後の活動について」講演をしていただきました。

第2部はワークショップ

形式で、対策委員会の枠を越えてグループを作り、「セーフコミュニティをさらに広げていくにはどうしたらいいか」「より多くの市民に関わってもらうにはどうしたらいいか」をテーマに意見交流を行い、活発な討議がなされていました。各グループからは、様々なアイディアが出されました。

この研修会を機に、さらにセーフコミュニティ活動の拡大を目指します。



〔意見交流の様子〕

インターナショナルセーフスクール

セーフスクールとは…

体と心のケガやその原因となる事故、いじめ、暴力を予防することによって、安全な学校や保育所づくりを進める活動がインターナショナル・セーフスクール（ISS）です。

亀岡市立曾我部小学校、社会福祉法人倣^{ほう}襄^{じょうかい}会 亀岡あゆみ保育園、亀岡市立保育所8カ所（本梅、東本梅、川東、中部、東部、第六、別院、保津各保育所）がISS認証を取得し、現在も取り組みを進めています。

「ひまわりの絆プロジェクト」in 川東保育所 ～命の大切さを考えよう～

5月18日、川東保育所で「ひまわりの絆プロジェクト」の一環で、ひまわりの種まき式が行われました。



〔種を植えている様子〕



〔川東保育所の種まき式〕

「ひまわりの絆プロジェクト」とは、平成23年11月に木津川市で交通事故により死亡した子どもが育てていたヒマワリを育て、交通事故防止のシンボルにしようとするものです。

川東保育所の園児たちは、命の大切さと交通事故防止について、保育士と馬路駐在所の警察官から話を聞き、地域の防犯推進員も一緒にひまわりの種を植えました。



〔太鼓のバチの持ち方〕

中部保育所の「太鼓始まりの会」 ～和太鼓を安全に楽しく、心に響け！～

中部保育所では、みんなで心をひとつにできる取り組みとして和太鼓に取り組んでいます。背筋を伸ばして、足を踏ん張って太鼓を打つことで、体力づくりにつながっています。

保育所でのケガのデータから、和太鼓のバチによるケガが多いという結果を受けて、平成23年に「太鼓

けが予防マニュアル」を作成しました。

その取り組みを現在も継続しており、太鼓を始める前に、太鼓の取り組みの経過や、太鼓を打つ時の約束の話をしながら「安全なバチの持ち方は？」「どんな持ち方が良いかな？」と子どもたちと考え合っています。

今後も子どもたちと一緒に安全な遊びについて考えていきます。



〔太鼓遊びの様子〕

韓国からの視察を受けました！ ～曾我部小学校のISSの取り組み～

5月27日、韓国の政府系研究機関である教育開発院の職員が、曾我部小学校のISSの取り組みを視察しました。



〔校舎内見学の様子〕

曾我部小学校では、地域と連携して進めてきた自転車運転免許証の取得や防災教育、環境の整備などの取り組みについて説明しました。

教育開発院の職員は「ISSを通して、子どもたちの安全への意識を高め、子ども自らが危険回避をする力を育む教育がとても参考になった」との感想を述べていました。



〔説明の様子〕



〔ISSの説明〕

本梅保育所の「保護者会研修会」 ～普段のヒヤリハットを共有しよう～

5月7日、本梅保育所で「保護者会研修会」が開催されました。研修会はワークショップ形式で実施し、グループごとに家庭での遊び・お手伝いの中でヒヤリハットしたことを出し合い、その解決方法について考えました。



〔ワークショップの様子〕

「お風呂ですべった」「買い物のカートを押してぶつかりそうになった」などのヒヤリ体験に共感し合いながら話が進み、いろいろな経験を大切にしながらも大人が近くで子どもをしっかり見守ること、危険を予測して注意することが大切であると確認しました。

本梅保育所の卒園制作「安全ぼうや」 ～ISSの取り組みをつなげよう！～



〔安全ぼうや〕

本梅保育所では、昨年度卒園した5歳児が制作した「安全ぼうや」が保育所前に設置され、園児たちや地域の安全を守っています。

現在の5歳児の子どもたちは、先輩から「道路に飛び出さない」「おうちの人と手をつないで歩く」ことを学び、「こっころ調査隊」になって保育所の安全を守っています。



〔5歳児の子どもたち〕